



ICT(情報通信技術)による 難民たちの能力開発



米国ワシントン州レッドモンドに本社を置くマイクロソフト社は、コンピューター関連機器の多様なソフトウェアの開発、製造、ライセンス、サポートを行う多国籍コンピューターテクノロジー企業です。主力製品は OS のウィンドウズ、及び生産性向上ソフトウェアをセットにしたマイクロソフトオフィスです。同社の展開する Unlimited Potential (無限の可能性) プログラムでは、世界各国のコミュニティを主体とした組織を通じ、テクノロジー分野のスキルを提供することによって、恵まれない若者や成人の生涯学習の充実を図っています。マイクロソフト社については www.microsoft.com、Unlimited Potential(無限の可能性)プログラムについては www.microsoft.com/unlimitedpotential をご覧ください。

UNHCR Council of Business Leaders 創立メンバー

「マイクロソフト社は、難民の若者に教育とスポーツと楽しみを与えようとする UNHCR の活動を、誇りをもって支援します。互いに協力し合えば、若者に大きな希望を与え、また真の生活改善を達成でき、この世界を変えていくことができると信じています。」

—Patrick De Smedt

欧州・中東・アフリカ担当
マイクロソフト会長

「難民の登録は一人ひとりについて、生い立ちから経済状況まで全て記録するようになるので UNHCR や政府にとって煩雑な作業です。同社は世界各地のパートナー機関とこの課題に取り組み、UNHCR の難民支援の効率向上の手助けをしてくれています。」

—国連難民高等弁務官

アントニオ・グテーレス

パートナーシップについて

パートナーシップの始まりは 1999 年、コソボ紛争をきっかけにマイクロソフト社の社員達が UNHCR に時間と専門知識の無償提供を申し入れたことでした。この最初のコラボレーションがパートナーシップへと成長し、2005 年、同社は事業ノウハウ、経営資源、ネットワークを積極的に活用し、UNHCR の活動内容に役立てようとする多国籍企業から構成される Council of Business Leaders の会員となりました。今日では、開発手段として、ICT(情報通信技術)を中心とした共同活動を数多く展開しています。

難民フィールドキット 2000、Profile(プロフィール)

コソボでの初期の活動では、マイクロソフト社員約 70 名が UNHCR 職員と共に移動式難民登録システムを開発、導入しました。このシステムが後に難民フィールドキット 2000 として世界 12 カ国で導入され、その後、それ以外の国々にも Profile というシステム名で導入されるようになりました。

ProGres(プログレス)

Profile 第三世代の ProGres は UNHCR の難民登録の標準システムです。互換性のないこれまでの古いデータベースに代わり、マイクロソフト社の技術アドバイスをもとに UNHCR が開発したシステムで、現在アフリカを中心に 60 カ国以上で運用されています。ProGres は 500 万人以上の難民の人口統計的な情報が保管できるだけでなく、難民一人ひとりのニーズや、各難民キャンプの人口構成、帰国の計画を立てやすくするため難民の出身地等も正確に把握でき、難民や関係者の情報の共有、収集、活用といった UNHCR 職

員の作業の改善にもつながっています。

コミュニティ技術アクセス

2004 年、マイクロソフト社と UNHCR はロシアとケニアの難民向けにコミュニティ学習センター (CTLC) 計画のもと、IT 訓練の提供を始めました。この経験を土台に始まったのが、同社と UNHCR によるコミュニティ技術アクセスプログラムで、世界各地の難民が、遠隔地のキャンプや受け入れコミュニティという環境においても、ICT(情報通信技術)スキルを習得したり、必要な機器へのアクセス、技術サポートを得ることができます。

NINEMILLION.ORG



同社は 2010 年までに 900 万人の難民の子どもたちに教育とスポーツの機会を与えることを目指した UNHCR の世界的キャンペーン、ninemillion.org キャンペーンの創設メンバーで、自社のオンラインネットワーク、MSM でキャンペーンの特集を配信するなど支援しています。

「クリックで貢献」キャンペーン

2 年のキャンペーン期間中、LiveSearch による検索一回ごとに UNHCR に寄付金が集まる仕組みです。

I'M イニシアティブ

このイニシアティブにより、Windows Live Messenger か Windows Live Hotmail の広告収益の一部が ninemillion.org キャンペーンに寄付されます。

世界難民の日

2008 年に同社が支援したこのイベントは、世界中の難民の現状を知ってもらうために毎年 6 月 20 日に開催されるイベントです。